

○計画期間：平成27年4月～令和3年3月（6年0月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和元年度終了時点（令和2年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市においては、平成27年3月27日に中心市街地活性化基本計画の認定を受け、令和3年3月までを計画期間として、「人が集い 賑わいと魅力あふれる 『歴史文化のまち・堺』の玄関づくり」をテーマに、「まちの活力の源となる来街者の増加」「まちなかの回遊性向上による賑わい創出」「商業の魅力向上による賑わい創出」の3つを活性化の目標として掲げ、これに向けて各事業に取り組んでいるところである。

中心市街地においては、すでに堺市文化観光拠点「さかい利晶の杜」がオープンし、文化振興や観光集客に資する取り組みにより、開館から約5年間でおよそ175万人の来館者を集めている。市民交流広場整備事業については、平成27年度に堺地方合同庁舎前の広場、平成29年度に堺市役所前の広場を整備し、行政主体の取り組み以外にも、市民・民間主体によるイベントが多数開催され、公民協働による中心市街地の賑わい創出に寄与している。

さらに、堺東駅前の商業ビルを建て替え、商業施設・都市型住宅等を整備する堺東駅南地区市街地再開発事業については、平成28年10月に都市再開発法に基づく権利変換計画の認可を受け、平成30年5月に施設建築物工事に着手している。また、老朽化した市民会館を建て替え、新しい文化芸術の創造・交流・発信の拠点を整備する市民会館建替え事業については、令和元年10月に開館・オープニング事業の実施、令和2年1月に施設運営を開始するなど、中心市街地の活性化に向けた主要な取り組みを着実に推進しているところである。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】 (基準日：毎年度12月31日)

（中心市街地 区域）	平成26年度 （計画前年度）	平成27年度 （1年目）	平成28年度 （2年目）	平成29年度 （3年目）	平成30年度 （4年目）	令和元年度 （5年目）
人口	16,972	17,459	17,621	17,759	18,254	18,527
人口増減数	+66	+487	+162	+138	+495	+273
自然増減数	-	-	-	-	-	-
社会増減数	-	-	-	-	-	-
転入者数	-	-	-	-	-	-

※自然増減数、社会増減数、転入者数については、システム上集計不可

2. 令和元年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

堺市中心市街地活性化協議会において、中心市街地活性化基本計画変更に対する意見聴取などを行い、期間延長される1年間も中心市街地の活性化に向けた取り組みを着実に実行されたいとの意見があった。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
まちの活力の源となる来街者の増加	定期利用者を除く 駅乗降客数	41,925 人/日 (H24)	43,900 人/日 (R2)	43,835 人/日 (R1)	B	①	①
まちなかの回遊性向上による賑わい創出	歩行者通行量	3,885 人/日 (H24)	4,390 人/日 (R2)	3,982 人/日 (R1)	B	④	①
商業の魅力向上による賑わい創出	空き店舗等の率	17.8% (H26)	11.1% (R2)	10.6% (R1)	A	①	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値達成、C：基準値未達成

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

計画5年目に入り、中心市街地の活性化に向けた主要な取り組みが概ね順調に進捗し、堺市文化観光拠点「さかい利晶の杜」には引き続き順調に来館者が訪れている。整備された堺市市民交流広場「Mina さかい」においては、令和元年度の利用回数が251回あり、さまざまなイベント等に活用されている。また、堺東駅南地区市街地再開発事業については、施設建築物工事が進捗している。市民会館建替え事業については、令和元年10月に開館・オープニング事業を実施し、令和2年1月から本格的な施設運営を開始した。

目標指標のうち、「空き店舗等の率」は、平成30年度に比べ、事業を着実に進めるなどにより減少し、目標は達成された。「定期利用者を除く駅乗降客数」は、平成30年度に目標値を達成しているが、令和元年度については、コロナウイルス感染症等の影響により、目標値を達成できなかったと考えられる。また、「歩行者通行量」は、ソフト事業の効果により平成30年度より増加し、基準値まで回復された。

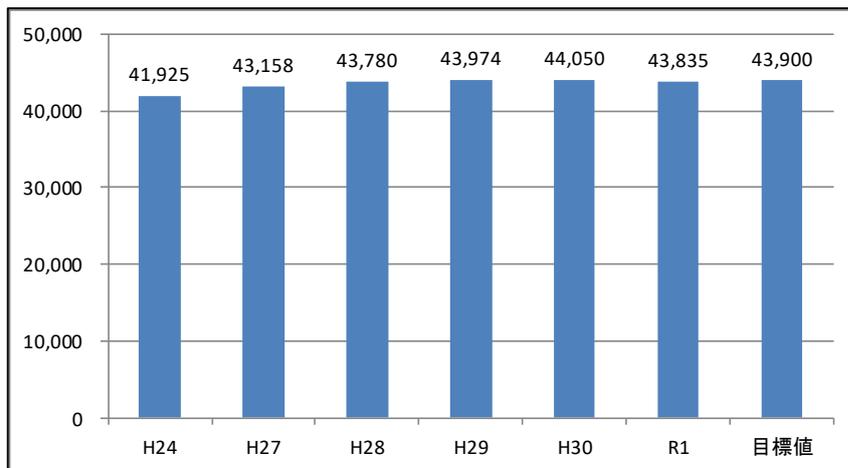
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

「歩行者通行量」については、計画期間の延伸によって、主要事業である市民会館建替え事業、博愛ビル活用事業の効果が見込めることから、目標達成が可能になると考えているため。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「定期利用者を除く駅乗降客数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 60～P. 62 参照

●調査結果の推移



年	(人/日)
H24	41,925 (基準年値)
H27	43,158
H28	43,780
H29	43,974
H30	44,050
R1	43,835
R2	43,900 (目標値)

※調査方法：鉄道事業者に聞き取り、R1年度の値は速報値

※調査月：毎月

※調査主体：堺市

※調査対象：堺東駅・堺駅の定期利用者を除く駅乗降客数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 市民会館建替え事業（堺市）

事業実施期間	平成27年度～令和元年度（完了）
事業概要	老朽化し閉館した市民会館を、新しい芸術文化の創造・交流・発信の拠点として建て替える。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業）（平成25年～令和元年度）
事業効果及び進捗状況	○事業効果 優れた文化芸術にふれる機会を提供するための機能を充実・発展するとともに、文化芸術活動を通じた多様な交流やまちの賑わい創出、都心地域における良好な都市空間の形成に寄与する。（想定来館者数約45万人／年） ○進捗状況 平成26～27年度：旧市民会館解体工事 平成28年度～：建設工事 平成30年度：竣工 令和元年10月：開館、オープニング事業実施（～12月まで） 令和2年1月～：施設運営開始
事業の今後について	本市における芸術文化の殿堂として、上質な公演を市民に提供するとともに、日々の練習やその成果を発揮する場所として、また、本市の都市ブランドを広く内外に発信する施設となるよう施設の運

	営に取り組む。
--	---------

②. 市民交流広場整備事業（堺市）

事業実施期間	平成 25 年度～平成 29 年度（完了） 〔認定基本計画：平成 25 年度～令和元年度〕
事業概要	市役所前の広場及び堺東行政ゾーン整備による国施設更新等により発生する敷地を一体的に活用し、イベントの開催等多目的に使用できる広場の整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）（国土交通省）（平成 26 年度～平成 28 年度）
事業効果及び進捗状況	○事業効果 市役所及び国施設と広場が一体となって本市の玄関口にふさわしいランドマークを形成し、まちの顔づくりや楽しく回遊できる中心市街地の形成に資する。（整備後のイベント実施回数想定約 100 回／年） ○進捗状況 平成 27 年 5 月：合同庁舎前広場完成 平成 29 年 9 月：市役所前広場完成 令和元年度利用回数：251 回
事業の今後について	引き続き市民交流広場を活用し、イベント等多目的に活用できるよう利用促進を図る。

③. 堺市文化観光拠点（さかい利晶の杜）運営事業（堺市）

事業実施期間	平成 26 年度～（実施中）
事業概要	堺の歴史文化の魅力を発信し、文化振興や観光集客に資する文化観光拠点を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	○事業効果 堺市文化観光拠点「さかい利晶の杜」を運営し、周辺で取り組まれているまちづくり活動とも連携を図りながら、まちの賑わい創出と地域経済の活性化、都市魅力の向上を図る。（想定来館者数約 15～20 万人／年） ○進捗状況 来館者数（平成 27 年度）：約 45 万人 来館者数（平成 28 年度）：約 33 万人 来館者数（平成 29 年度）：約 31 万人 来館者数（平成 30 年度）：約 29 万人 来館者数（令和元年度）：約 27 万人
事業の今後について	内容の充実を図りながら、定期的な企画展の実施や集客イベント

いて	<p>(にぎわいマルシェ・堺W-1グランプリ・周年記念イベント等)を開催することにより、約30万人の年間来館者を継続して獲得できている。</p> <p>今後は、企画展や各種イベントを多角的に展開するなど館そのものの魅力のさらなる向上・発信に取り組む。また、世界遺産【百舌鳥・古市古墳群】を目的とした来訪者の取り込みにも取り組んでいくことでさらなる来館者の獲得に取り組んでいく。</p>
----	--

④. 大浜体育館建替え（武道館併設）事業（堺市）

事業実施期間	平成28年度～令和2年度（実施中）
事業概要	老朽化した体育館建替えと、武道館の併設整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	<p>○事業効果</p> <p>老朽化した大浜体育館を建替え、市民が安全・快適に、スポーツに親しめる場を提供する。また、これに伴い、武道の拠点とするために武道館を併設する。</p> <p>新たなスポーツ拠点として建替え整備することにより、都市魅力の創出を図る。</p> <p>○進捗状況</p> <p>平成30年4～8月 基本設計</p> <p>平成30年9月～ 実施設計</p>
事業の今後について	令和元年度より建設工事に着手し、今後も事業を着実に推進していく。

⑤. ガシ横エリアを核とした堺東商店街活性化プロジェクト（堺東駅前商店街協同組合、堺東商店街商業協同組合、堺銀座南商店街、民間事業者）【平成28年度追加】

事業実施期間	平成28年度～令和元年度（完了）
事業概要	堺東の魅力向上につながるハード・ソフトの商店街活性化を行う。
国の支援措置名及び支援期間	<p>地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金（中心市街地再興戦略事業）のうち調査事業、専門人材活用支援事業（平成29年度～平成30年度）</p> <p>地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金（中心市街地活性化支援事業）のうち調査事業、専門人材活用支援事業（令和元年度）</p>
事業効果及び進捗状況	<p>○事業効果</p> <p>地域ニーズに対応した魅力向上につながるハード・ソフトの商店街活性化事業による新たな魅力創出とまちの賑わいを図る。</p> <p>○進捗状況</p>

	<p>ガシ横マーケット</p> <p>平成 28 年度開催回数：12 回 平成 29 年度開催回数：12 回 平成 30 年度開催回数：12 回 令和元年度開催回数：12 回</p> <p>GashiFlea（ガシフリ）（平成 29 年度～）</p> <p>平成 29 年度開催回数：10 回 平成 30 年度開催回数：12 回 令和元年度開催回数：12 回</p>
事業の今後について	これまでの実績等を見ながら、今後の取組みについて点検・検討を行う。

⑥. 堺東まちなか「逸品」バル（ガシバル実行委員会）

事業実施期間	平成 23 年度～（実施中）
事業概要	堺東地域の飲食店などを中心としたバル事業の実施。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	<p>○事業効果</p> <p>地域の飲食店等を中心とした魅力発信によるまちの賑わいの創出を図る。</p> <p>○進捗状況</p> <p>開催回数（平成 27 年度）：2 回 開催回数（平成 28 年度）：2 回 開催回数（平成 29 年度）：1 回 開催回数（平成 30 年度）：1 回 開催回数（令和元年度）：1 回</p>
事業の今後について	中心市街地では、飲食店などが増加していることから、新たな飲食イベント等を検討する。

⑦. 堺東イルミネーション事業（堺市中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成 12 年度～（実施中）
事業概要	堺東駅周辺地域のイルミネーションの実施。平成 14 年度以降は大小路イルミネーション事業と一体的に実施。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	<p>○事業効果</p> <p>イルミネーションによる来街者増加によるまちの賑わいの創出や都市魅力の向上を図る。</p> <p>○進捗状況</p>

	平成 27 年度：平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 1 月 15 日 平成 28 年度：平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 1 月 15 日 平成 29 年度：平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 1 月 15 日 平成 30 年度：平成 30 年 11 月 30 日～平成 31 年 1 月 15 日 令和元年度：令和元年 11 月 29 日～令和 2 年 1 月 15 日
事業の今後について	引き続き大小路イルミネーション事業と連携し、取り組みを行っていく。

⑧. 大小路イルミネーション事業（堺市中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成 14 年度～（実施中）
事業概要	堺東イルミネーション事業と一体的に大小路シンボルロードのイルミネーションの実施。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	○事業効果 イルミネーションによる来街者増加によるまちの賑わいの創出や都市魅力の向上を図る。 ○進捗状況 平成 27 年度：平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 1 月 15 日 平成 28 年度：平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 1 月 15 日 平成 29 年度：平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 1 月 15 日 平成 30 年度：平成 30 年 11 月 30 日～平成 31 年 1 月 15 日 令和元年度：令和元年 11 月 29 日～令和 2 年 1 月 15 日
事業の今後について	引き続き堺東イルミネーション事業と連携し、取り組みを行っていく。

⑨. 堺少女歌劇団プロジェクト（堺少女歌劇団実行委員会）

事業実施期間	平成 25 年度～（実施中）
事業概要	地域商業者が支援し、少女たちにレッスンの場を提供し、新たな魅力の創出と商店街の活性化を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	○事業効果 本市の魅力を発信しつつ新しい魅力の創出によるまちの賑わいと商店街の活性化を図る。 ○進捗状況 参加イベント数（平成 27 年度）：6 回 参加イベント数（平成 28 年度）：10 回 参加イベント数（平成 29 年度）：21 回 参加イベント数（平成 30 年度）：13 回

	参加イベント数（令和元年度）：17回
事業の今後について	これまでの実績等を見ながら、今後の取組みについて点検・検討を行う。

⑩. SAKAI 散走による魅力発信事業（民間事業者）【平成 30 年度追加】

事業実施期間	平成 30 年度～（実施中）
事業概要	自転車で散歩するようにまちを回遊する、自転車観光ガイド付き「SAKAI 散走」を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	○事業効果 地場産業である自転車を活用しまちを回遊することにより中心市街地の要所にある魅力を発信することを資する。 ○進捗状況 平成 30 年度イベント実施回数 1 回 令和元年度イベント実施回数 2 回
事業の今後について	散走を通じて堺の魅力発信及び自転車の安全利用の普及を行う「SAKAI 散走アンバサダー」の養成講座を実施する。

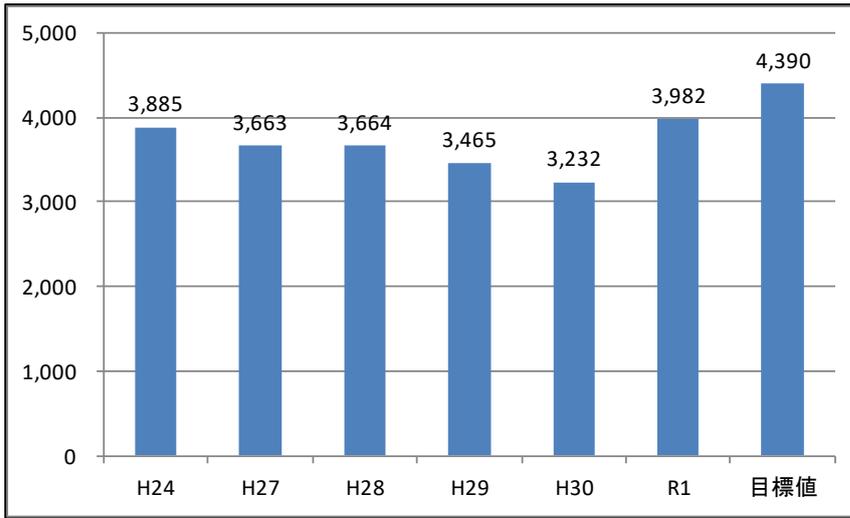
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 27 年 3 月に開館した「さかい利晶の杜」においては、想定していた以上の来館者を集めており、またその他の主要事業も概ね順調に進捗し、平成 30 年度には、目標は達成された。なお、令和元年度は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、目標値を達成できなかったと考えられる。

今後は引き続き、さかい利晶の杜の運営や市民交流広場「Mina さかい」におけるイベント、イルミネーション事業や散走など、来街者の増加に資する取組みを実施することにより、目標の達成に努める。

「歩行者通行量」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 63～P. 66 参照

●調査結果の推移



年	(人/日)
H24	3,885 (基準年値)
H27	3,663
H28	3,664
H29	3,465
H30	3,232
R1	3,982
R2	4,390 (目標値)

※調査方法：歩行者通行量調査を実施

※調査月：令和元年7月5日(金)、7月6日(土)

※調査主体：堺市

※調査対象：歩行者通行量(8地点)

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 市民会館建替え事業(堺市)

事業実施期間	平成27年度～令和元年度(完了)
事業概要	老朽化し閉館した市民会館を、新しい芸術文化の創造・交流・発信の拠点として建て替える。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(平成25年～令和元年度)
事業効果及び進捗状況	○事業効果 優れた文化芸術にふれる機会を提供するための機能を充実・発展するとともに、文化芸術活動を通じた多様な交流やまちの賑わい創出、都心地域における良好な都市空間の形成に寄与する。(想定来館者数約45万人/年) ○進捗状況 平成26～27年度：旧市民会館解体工事 平成28年度～：建設工事 平成30年度：竣工 令和元年10月：開館、オープニング事業実施(～12月まで) 令和2年1月～：施設運営開始
事業の今後について	本市における芸術文化の殿堂として、上質な公演を市民に提供するとともに、日々の練習やその成果を発揮する場所として、また、本市の都市ブランドを広く内外に発信する施設となるよう施設の運

	営に取り組む。
--	---------

②. 堺東駅南地区第一種市街地再開発事業（堺東駅南地区再開発株式会社）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 2 年度（実施中）
事業概要	老朽化した商業ビルを建て替え、商業施設に加え、立地を活かした都市型住宅の供給による居住機能や公益施設整備による交流機能の充実等を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）（国土交通省）（平成 26 年度～令和 2 年度）
事業効果及び進捗状況	○事業効果 堺東駅前交通広場に隣接し、南海高野線と幹線道路に挟まれた地区の再開発事業により、まちのにぎわい創出や良好な都市空間の形成に寄与する。（住宅整備戸数約 330 戸） ○進捗状況 平成 27 年 9 月：施行認可 平成 28 年 10 月：権利変換計画認可 平成 30 年 4 月～：除却工事完了 平成 30 年 5 月～：施設建築物工事
事業の今後について	施設建築物工事の完成に向けて施行者や関係機関等との協議・調整等を行う。

③. 市民交流広場整備事業（堺市）

事業実施期間	平成 25 年度～平成 29 年度（完了） [認定基本計画：平成 25 年度～令和元年度]
事業概要	市役所前の広場及び堺東行政ゾーン整備による国施設更新等により発生する敷地を一体的に活用し、イベントの開催等多目的に活用できる広場の整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）（国土交通省）（平成 26 年度～平成 28 年度）
事業効果及び進捗状況	○事業効果 市役所及び国施設と広場が一体となって本市の玄関口にふさわしいランドマークを形成し、まちの顔づくりや楽しく回遊できる中心市街地の形成に資する。（整備後のイベント実施回数想定約 100 回／年） ○進捗状況 平成 27 年 5 月：合同庁舎前広場完成 平成 29 年 9 月：市役所前広場完成 令和元年度利用回数：251 回
事業の今後について	引き続き市民交流広場を活用し、イベント等多目的に活用できるよう利用促進を図る。

④. 堺市文化観光拠点（さかい利晶の杜）運営事業（堺市）

事業実施期間	平成 26 年度～（実施中）
事業概要	堺の歴史文化の魅力を発信し、文化振興や観光集客に資する文化観光拠点を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	<p>○事業効果</p> <p>堺市文化観光拠点「さかい利晶の杜」を運営し、周辺で取り組まれているまちづくり活動とも連携を図りながら、まちの賑わい創出と地域経済の活性化、都市魅力の向上を図る。（想定来館者数約 15～20 万人／年）</p> <p>○進捗状況</p> <p>来館者数（平成 27 年度）：約 45 万人 来館者数（平成 28 年度）：約 33 万人 来館者数（平成 29 年度）：約 31 万人 来館者数（平成 30 年度）：約 29 万人 来館者数（令和元年度）：約 27 万人</p>
事業の今後について	<p>内容の充実を図りながら、定期的な企画展の実施や集客イベント（にぎわいマルシェ・堺W-1 グランプリ・周年記念イベント等）を開催することにより、約 30 万人の年間来館者を継続して獲得できている。</p> <p>今後は、企画展や各種イベントを多角的に展開するなど館そのものの魅力のさらなる向上・発信に取り組む。また、世界遺産【百舌鳥・古市古墳群】を目的とした来訪者の取り込みにも取り組んでいくことでさらなる来館者の獲得に取り組んでいく。</p>

⑤. 大浜体育館建替え（武道館併設）事業（堺市）

事業実施期間	平成 28 年度～令和 2 年度（実施中）
事業概要	老朽化した体育館建替えと、武道館の併設整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	<p>○事業効果</p> <p>老朽化した大浜体育館を建替え、市民が安全・快適に、スポーツに親しめる場を提供する。また、これに伴い、武道の拠点とするために武道館を併設する。</p> <p>新たなスポーツ拠点として建替え整備することにより、都市魅力の創出を図る。</p> <p>○進捗状況</p> <p>平成 30 年 4～8 月 基本設計</p>

	平成 30 年 9 月～ 実施設計
事業の今後について	令和元年度より建設工事に着手し、今後も事業を着実に推進していく。

⑥. ガシ横エリアを核とした堺東商店街活性化プロジェクト（堺東駅前商店街協同組合、堺東商店街商業協同組合、堺銀座南商店街、民間事業者）【平成 28 年度追加】

事業実施期間	平成 28 年度～令和元年度（完了）
事業概要	堺東の魅力向上につながるハード・ソフトの商店街活性化を行う。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金（中心市街地再興戦略事業）のうち調査事業、専門人材活用支援事業（平成 29 年度～平成 30 年度） 地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金（中心市街地活性化支援事業）のうち調査事業、専門人材活用支援事業（令和元年度）
事業効果及び進捗状況	○事業効果 地域ニーズに対応した魅力向上につながるハード・ソフトの商店街活性化事業による新たな魅力創出とまちの賑わいを図る。 ○進捗状況 ガシ横マーケット 平成 28 年度開催回数：12 回 平成 29 年度開催回数：12 回 平成 30 年度開催回数：12 回 令和元年度開催回数：12 回 GashiFlea（ガシフリ）（平成 29 年度～） 平成 29 年度開催回数：10 回 平成 30 年度開催回数：12 回 令和元年度開催回数：12 回
事業の今後について	これまでの実績等を見ながら、今後の取組みについて点検・検討を行う。

⑦. 堺東まちなか「逸品」バル（ガシバル実行委員会）

事業実施期間	平成 23 年度～（実施中）
事業概要	堺東地域の飲食店などを中心としたバル事業の実施。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	○事業効果 地域の飲食店等を中心とした魅力発信によるまちの賑わいの創出を図る。 ○進捗状況

	開催回数（平成 27 年度）：2 回 開催回数（平成 28 年度）：2 回 開催回数（平成 29 年度）：1 回 開催回数（平成 30 年度）：1 回 開催回数（令和元年度）：1 回
事業の今後について	中心市街地では、飲食店などが増加していることから、新たな飲食イベント等を検討する。

⑧. 堺東イルミネーション事業（堺市中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成 12 年度～（実施中）
事業概要	堺東駅周辺地域のイルミネーションの実施。平成 14 年度以降は大小路イルミネーション事業と一体的に実施。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	○事業効果 イルミネーションによる来街者増加によるまちの賑わいの創出や都市魅力の向上を図る。 ○進捗状況 平成 27 年度：平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 1 月 15 日 平成 28 年度：平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 1 月 15 日 平成 29 年度：平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 1 月 15 日 平成 30 年度：平成 30 年 11 月 30 日～平成 31 年 1 月 15 日 令和元年度：令和元年 11 月 29 日～令和 2 年 1 月 15 日
事業の今後について	引き続き大小路イルミネーション事業と連携し、取り組みを行っていく。

⑨. 大小路イルミネーション事業（堺市中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成 14 年度～（実施中）
事業概要	堺東イルミネーション事業と一体的に大小路シンボルロードのイルミネーションの実施。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	○事業効果 イルミネーションによる来街者増加によるまちの賑わいの創出や都市魅力の向上を図る。 ○進捗状況 平成 27 年度：平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 1 月 15 日 平成 28 年度：平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 1 月 15 日 平成 29 年度：平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 1 月 15 日 平成 30 年度：平成 30 年 11 月 30 日～平成 31 年 1 月 15 日

	令和元年度：令和元年 11 月 29 日～令和 2 年 1 月 15 日
事業の今後について	引き続き堺東イルミネーション事業と連携し、取り組みを行っていく。

⑩. 堺少女歌劇団プロジェクト（堺少女歌劇団実行委員会）

事業実施期間	平成 25 年度～（実施中）
事業概要	地域商業者が支援し、少女たちにレッスンの場を提供し、新たな魅力の創出と商店街の活性化を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	○事業効果 本市の魅力を発信しつつ新しい魅力の創出によるまちの賑わいと商店街の活性化を図る。 ○進捗状況 参加イベント数（平成 27 年度）：6 回 参加イベント数（平成 28 年度）：10 回 参加イベント数（平成 29 年度）：21 回 参加イベント数（平成 30 年度）：13 回 参加イベント数（令和元年度）：17 回
事業の今後について	これまでの実績等を見ながら、今後の取り組みについて点検・検討を行う。

⑪. SAKAI 散走による魅力発信事業（民間事業者）【平成 30 年度追加】

事業実施期間	平成 30 年度～（実施中）
事業概要	自転車で散歩するようにまちを回遊する、自転車観光ガイド付き「SAKAI 散走」を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	○事業効果 地場産業である自転車を活用しまちを回遊することにより中心市街地の要所にある魅力を発信することを資する。 ○進捗状況 平成 30 年度イベント実施回数 1 回 令和元年度イベント実施回数 2 回
事業の今後について	散走を通じて堺の魅力発信及び自転車の安全利用の普及を行う「SAKAI 散走アンバサダー」の養成講座を実施する。

●目標達成の見通し及び今後の対策

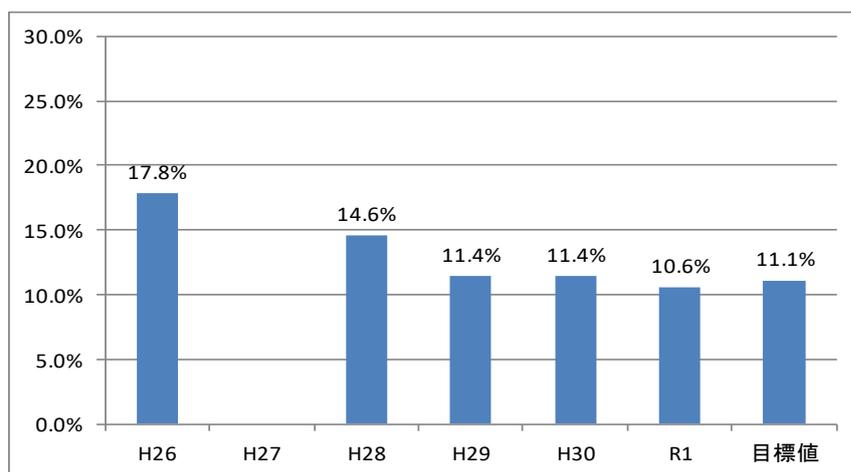
さかい利晶の杜における各種企画・イベント等や市民交流広場におけるイベント等を継続的に実施しており、中心市街地に様々な目的をもった来街者の増加を図ったことか

ら、歩行者通行量は基準値まで回復された。

計画期間の延伸を行い、主要事業である市民会館建替え事業、博愛ビル活用事業の効果が発現する見込みであり、引き続き計画事業を着実に実施することで、目標の達成に努める。

「空き店舗等の率」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 67～P. 68 参照

●調査結果の推移



年	(%)
H24	17.8 (基準年値)
H27	-
H28	14.6
H29	11.4
H30	11.4
R1	10.6
R2	11.1 (目標値)

※調査方法：空き店舗等調査を実施

※調査月：令和元年8月～9月

※調査主体：堺市

※調査対象：空き店舗等（堺東地区、堺地区、山之口地区）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 堺東駅前地区第一種市街地再開発事業（堺東駅前地区再開発株式会社）

事業実施期間	平成25年度～令和2年度（実施中）
事業概要	老朽化した商業ビルを建て替え、商業施設に加え、立地を活かした都市型住宅の供給による居住機能や公益施設整備による交流機能の充実等を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）（国土交通省）（平成26年度～令和2年度）
事業効果及び進捗状況	<p>○事業効果 堺東駅前交通広場に隣接し、南海高野線と幹線道路に挟まれた地区の再開発事業により、まちのにぎわい創出や良好な都市空間の形成に寄与する。（住宅整備戸数約330戸）</p> <p>○進捗状況 平成27年9月：施行認可 平成28年10月：権利変換計画認可 平成30年4月～：除却工事完了</p>

	平成 30 年 5 月～：施設建築物工事
事業の今後について	施設建築物工事の完成に向けて施行者や関係機関等との協議・調整等を行う。

②. 地域コミュニティ形成促進事業補助（空き店舗等活用促進事業）（堺市）

事業実施期間	平成 22 年度～（実施中）
事業概要	補助事業により、空き店舗への商店街の不足業種等の誘致や空き店舗でのコミュニティ活性化事業を支援する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	<p>○事業効果 商店街等が取り組む新規テナント誘致活動や、空き店舗等でのコミュニティ活性化事業を促進し、中心市街地の商業機能の充実を図ることにより、まちの賑わいにつながる商業の魅力向上に寄与する。 （1 店舗／年を想定）</p> <p>○進捗状況 平成 27 年度：1 件 平成 28 年度：2 件 平成 29 年度：3 件 平成 30 年度：0 件 令和元年度：0 件</p>
事業の今後について	これまでの実績等を見ながら、今後の取組みについて点検・検討を行う。

③. 都心地域業務系機能集積促進事業（堺市）

事業実施期間	平成 22 年度～（実施中）
事業概要	都心地域に業務系機能の集積を促進するため、事業所等を新設又は移転する場合に賃料等の一部を補助。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	<p>○事業効果 都心地域に業務系機能を集積させることにより、市内産業の活性化、雇用の拡大及びまちの賑わい創出を図る。（1 事業所／年を想定）</p> <p>○進捗状況（空き店舗等調査範囲内） 平成 27 年度：1 件 平成 28 年度：0 件 平成 29 年度：1 件</p>

	平成 30 年度：1 件 令和元年度：1 件
事業の今後について	都心地域業務系機能集積促進事業においては、1 件の活用実績があることから概ね順調に進捗しており、今年度の目標達成は可能であると考えられる。今後も引き続き事業を進めることにより、更なる本事業利用件数の増加を目指し、市内産業の活性化を図っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

空き店舗等の率について、平成 30 年度に比べ、都心地域業務系機能集積促進事業は、引き続き 1 件の活用実績があることや事業を着実に進めるなどにより、目標は達成された。

今後は、引き続き計画事業を着実に実施することで更なる改善を行っていく。